

令和8年度第1回みやぎ観光振興会議仙南圏域宿泊事業者部会 議事録

1 開 会

2 あいさつ

3 内 容

(1) 令和8年度宿泊税充当事業について

宮城県経済商工観光部観光戦略課 松本課長から資料1により、「令和8年度宿泊税充当事業」説明

→意見交換

(2) 仙南圏域における観光振興施策について

大河原地方振興事務所地方振興部佐々木部長から資料2により、「仙南圏域における観光振興施策について」説明

→意見交換

(3) その他

宮城県経済商工観光部観光戦略課 松本課長から追加配布資料により、以下について説明

- ・令和10年秋の「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」について
- ・宮城県観光人材育成セミナー」の開催について
- ・観光コンテンツ創出等支援事業補助金の二次募集について

【意見交換】

(1) 令和8年度宿泊税充当事業について

青柳委員

- ・昨年議論した内容が反映されており、全体的な骨格は良くできている。今後は、それぞれの事業が年度ごとにどのような効果があったかを検証していく必要がある。

大沼響子委員

- ・レンタカーを利用した周遊促進事業は大変ありがたい施策。
- ・ガイド育成について、特定の優れた通訳案内士を少数育成するよりも、地域の運転手の方やお土産屋の方など、広くインバウンドに接している方々の助けになるツールやノウハウを共有する仕組みがあると良い。
- ・全体としては、市町村や観光協会が補助対象となる事業が多いので、市町村がどのようにこれらを活用していくのか、その後のフォローの機会があると嬉しい。

佐藤委員

- ・外国人旅行者を対象にした災害時に役立つツールがあることを、空港や駅のポスター、観光施設のウェブサイト、観光マップなどで周知し、外国人旅行者の不安を解消していくことが重要。

篠木委員

- ・事業の内容が早めに分かれば、市町や地域と連携した計画が立てやすくなるので、早めに周知してほしい。
- ・①の「宿泊税市町村交付金（市町村提案型）」について、現状どのようになっているか。
- ・⑫のインバウンド受入基盤整備事業について、具体的な事業箇所は決定しているか。
- ・⑮の「観光振興協力金」について、詳しく説明してほしい。

松本課長

- ・①の「宿泊税市町村交付金」は、地域で使える財源を確保してほしいという要望に応え、仙台市を除く市町村が観光振興に取り組めるよう創設したもの。メニュー選択型と市町村提案型の2階建てとしており、市町村提案型については補助上限800万円、補助率3分の2として、市町村の負担が少なくなるよう設定。単価50円という部分についてはご意見もあると思うが、他にも地域で使える補助事業を用意しているので、まずは今年度この形で進めさせていただきたい。
- ・⑫の「インバウンド受入基盤整備事業」の事業箇所については、蔵王レストハウスなど外国人観光客が多く訪れる県内の施設においてキャッシュレス決済ができないといった課題があるため、速やかに対応していきたい。
- ・⑮の「観光振興協力金」について、宿泊事業者の皆様にはOTAの手数料やクレジットカード決済手数料など様々な負担が生じていることを認識している。そのため、特別徴収義務者交付金の3.5%に上乗せする形で2.5%を交付し、総額の負担軽減を図る目的で設定。
- ・事業全体としては今年度実施しながら、効果を検証し柔軟に見直ししていきたい。

嶋崎委員

- ・宿泊事業者向けの事業が多くなっている。宿泊事業者には税を徴収する手間が生じてはいるが、宿泊税はお客様が負担している税金なので宮城県全体の経済波及効果や観光振興にどうつながるのかを基本に据えて、施策を検討してほしい。
- ・多言語対応については、お客様自身がスマートフォン等で翻訳アプリを活用して対応できる時代になってきている。そのため、看板の多言語表示などに予算をかける必要性は薄れてきているのではないかな。
- ・ただし、お客様を呼び込むホームページなどの部分については多言語対応が必要。

渡部委員

- ・一番の課題は観光人材の確保だと考える。インバウンドに限らず、観光に関わる人材育成を事業の柱として進めていただければと思う。多言語対応については、先ほど嶋崎委員が言ったように、お客様ご自身で翻訳ツールを活用されることが増えているため、そこに多額の予算をかけるよりは、別の部分に活用していただいた方がよい。

大沼貴部会長

- ・①の市町村提案型について、まだ上限に達していないとのことだが、具体的にどの程度の残額があるか。

松本課長

- ・全体の予算としては5,600万円だが、現在、約4,300万円が消化されており、残り約1,300万円分について二次募集をしているところ。

大沼貴部会長

- ・①の市町村提案型について、ぜひ市町でも活用をお願いしたい。
- ・施策については、昨年の部会の意見をうまくまとめている。今年の意見も施策に取り入れていただきたい。

篠木委員

- ・市町には既に周知されているか。

松本課長

- ・関係する行政機関や市町村には周知している。ただ、議会の議決を経る必要があったため、十分な準備期間を設けられなかったのは反省点である。来年度以降は、より早い段階で情報提供できるよう改善する。

(2) 仙南圏域における観光振興施策について

青柳委員

- ・宿泊型観光モデルコースの造成について、何が宿泊につながるのか、例えば温泉であるとか、夜間のイベントであるとか、検討していただけていると思う。これからは実際にどのように実施していくかが重要である。

大沼響子委員

- ・村田町のオルレコースから宿泊につながったお客様はあまり多くない印象。夜間早朝コンテンツと結びつけるのは、熊などがあり難しい部分がある。蔵王オルレコースのように、遠刈田温泉との組み合わせなどのプラスアルファがあるとよい。村田町では、どのようなプラスアルファがあれば宿泊につながられるか、考えていただきたい。

佐藤委員

- ・SNSの影響力の強さを実感している。インバウンド誘客において、SNSやインフルエンサーを活用したプロモーションは非常に有効と考える。

篠木委員

- ・宿泊型観光モデルコースの造成に関して、各々打ち出したいコンテンツがあると思うが、AIが現状でどのようなコンテンツを出力するかといった視点で分析し、施策を立案することも検討していただければと思う。

嶋崎委員

- ・数少ない成長産業である観光分野に新しくチャレンジしたい人や事業者を呼び込み、育成していく創

業支援のような取り組みも重要である。

- ・二次交通について、これまで欧米豪からの観光客は公共交通機関の利用が多かったが、最近はレンタカーを利用する方が増えている。一方で、地方に行くタクシーが全く捕まらないという深刻な問題がある。当館のお客様でも、予約が取れずタクシーを手配できなかった事例があった。観光振興以前に、移動手段が確保できないのは非常に問題なので、ライドシェアの検討など対策もお願いしたい。

渡部委員

- ・七ヶ宿町では、宿泊となるとアウトドアなどが考えられるが、山間部における課題として、最近クマの出没問題が非常に深刻である。観光としてのクマ対策についてどのようなお考えがあるのか伺いたい。

松本課長

- ・クマの出没による影響で、宿泊のキャンセルが発生していることは承知している。しかしながら、自然が相手であるため、観光施策として直接的な安全確保対策を講じることは難しいのが現状。既存の財源の中で、宮城の自然の魅力と安全に関する正しい情報を適切に発信していくことで対応していきたいと考えている。他県での事例も注視しつつ、慎重に検討していく。

大沼貴部会長

- ・仙南圏域周遊・宿泊促進事業の予算 1,000 万円の使い道について具体的にどのように使われるのか明確にしていきたい。
- ・仙南圏域への誘客については、仙台からの二次交通が非常に重要。白石蔵王駅起点よりも仙台駅起点で移動される方が多いため、仙台からの高速バスなど仙南地域への交通手段をどのように周知していくか、観光客が調べたときにその情報を手にしやすいように工夫していただければ仙南への誘客につながるのではないかと。

佐々木部長

- ・限られた予算の中で具体的に何を進めていくかについては、難しい課題だと認識している。まずは圏域の周遊と宿泊につながる施策を重点的に行いたい。予算の具体的な使い道については、委託や印刷物など、どのようにお金が使われるかをお示ししたい。二次交通や仙台からの誘客についても、各市町の皆様と協力しながらしっかり対応していきたい。

大沼貴部会長

- ・1 圏域で予算 1000 万円、7 圏域で 7000 万というのは非常に少なく感じる。宮城県は観光に対する予算が少ないのではないかと懸念がある。例えば、福島県や山形県では宿泊に対する割引など手厚い補助が行われており、その影響で観光客が宮城県に訪れるが、他県に宿泊している現状がある。こういった手法は劇薬の面もあるので、別の方法で、宿泊税の財源を活かし、宿泊者が直接メリットを感じられるような施策を検討していただければと思う。

松本課長

- ・予算規模についてはご指摘の通り難しい部分もあるが、県全体で行うべきプロモーションと、地方振

興事務所が地域で行うべき役割分担を明確にし、連携を図ることで効果を最大化していきたいと考える。また、宿泊割引等の直接的な支援策についても、昨今の物価高騰や人材不足など宿泊業界の厳しい状況は認識しているので、宿泊税に限らずどのような対応が可能か、しっかりと検討していく。

高橋所長

- ・本日は皆様から多くの貴重なご意見、厳しいご意見を頂戴した。県の観光戦略課、また当事務所におきましても、それぞれの立場で観光振興に尽力していくので、皆様のご協力をよろしくお願いしたい。